

Tokyo Contemporary Art Award について

本賞は、2018年に東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館 トーキョーアーツアンドスペースによって創設された、海外での展開も含め、更なる飛躍とポテンシャルが期待できる国内の中堅アーティストを対象とした新たな現代美術の賞です。アーティストのキャリアにとって最適な時期に最善の支援内容を提供する必要性を重視し、受賞者の選考は、選考委員によるアーティストのリサーチやスタジオ訪問により、制作の背景や作品表現、キャリアステージへの理解を深めた上で行われます。受賞者に対しては、海外での活動支援のほか、東京都現代美術館での展覧会およびモノグラフ（日英）の作成など、複数年に渡る継続的な支援を行います。

【これまでの受賞者】

- 第1回 TCAA 2019-2021 風間サチコ / 下道基行
 第2回 TCAA 2020-2022 藤井光 / 山城知佳子
 第3回 TCAA 2021-2023 志賀理江子 / 竹内公太
 第4回 TCAA 2022-2024 サエボーグ / 津田道子

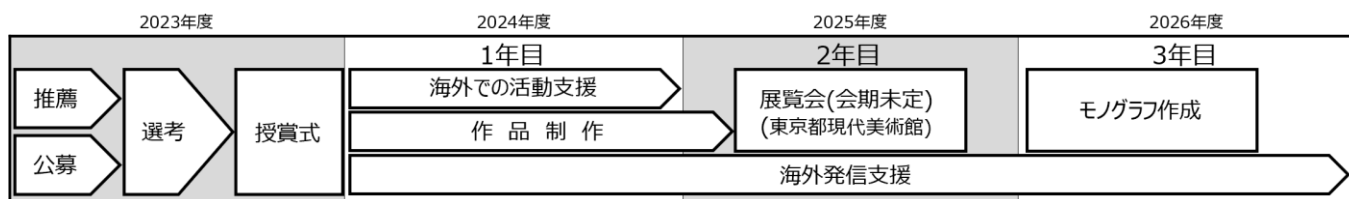
Tokyo Contemporary Art Award 2024-2026 について

2023年6月に公募を行い、選考委員に公募者を含む候補アーティストの推薦を依頼、議論によりノミネートアーティストを選出。その後、各アーティストの事前調査、オンラインを活用したスタジオ訪問や面接など、対話による選考を経て、受賞者を決定しました。

【支援内容】

- 賞金 300 万円
- 海外での活動支援 / 上限 200 万円（旅費、滞在費、調査・制作費等）
- 展覧会実施（東京都現代美術館での展示 / 2025 年度内予定）
- モノグラフ（作品集）の作成・海外発信支援

【スケジュール】



【選考委員】 ※肩書は2023年選考会実施時のもの

高橋瑞木	CHAT (Centre for Heritage, Arts and Textile) 館長兼チーフキュレーター
野村しのぶ	東京オペラシティアートギャラリー シニア・キュレーター
ソフィア・ヘルナンデス・チョン・クイ	クンストインスティテュート・メリー ディレクター
レズリー・マ	メトロポリタン美術館 ミン・チュウ・シュウ&ダニエル・シュー アジア・アート部門アソシエイト・キュレーター
鷺田めるろ	十和田市現代美術館 館長 / 東京藝術大学大学院 准教授
近藤由紀	トーキョーアーツアンドスペース プログラムディレクター (公益財団法人東京都歴史文化財団東京都現代美術館トーキョーアーツアンドスペース事業課長)

【選考会運営事務局】

特定非営利活動法人アーツイニシアティブトウキョウ [AIT/エイト]